

【資料 4-10】 部局内及び部局を構成する学内外研究機関との共同研究

共同研究【研究プロジェクト】

No.	共同研究者	分野・職位等（発表時） 学内外研究機関の所属等	メンバー/プロジェクト名/研究種目	プロジェクト期間
1	田中雅一	文化人類学 教授（協力） 人文科学研究所 教授	【代表】田中雅一【分担】江田憲治 ほか 「アジアの軍隊にみるトランスナショナルな性格に関する歴史・人類学的研究」 科学研究費補助金 基盤研究（B）	平成 20-23 年度
	江田憲治	文明構造論 教授		
2	月浦 崇	認知科学 准教授	【代表】阿部修士 【連携研究員】齋木 潤・月浦 崇・山本洋紀 ほか 【センター参画】吉川左紀子・船橋新太郎 脳機能イメージングと心理学実験設備の整備と運用体制の構築 こころの未来研究センター 【教員提案型連携研究プロジェクト】	平成 23-24 年度
	齋木 潤	認知科学 教授		
	山本洋紀	認知科学 助教		
	阿部修士	こころの未来研究センター 助教		
	吉川左紀子	こころの未来研究センター 教授		
船橋新太郎	認知科学 教授（協力） こころの未来研究センター 教授			
3	壇辻正剛	言語比較論 教授（協力） 学術情報メディアセンター 教授	【代表】壇辻正剛 【分担】坪田康・河崎 靖・道坂昭廣 ほか ICT を利用した応用言語学的研究 科学研究費補助金 基盤研究（B）	平成 23-26 年度
	坪田 康	学術情報メディアセンター 助教		
	河崎 靖	言語比較論 教授		
	道坂昭廣	東アジア文化論 教授		
4	齋木 潤	認知科学 教授	【代表】鎌田東二【分担】齋木 潤・原真明 ほか【研究協力者】小倉紀蔵 ほか 身心変容技法の比較宗教学—心と体とモノをつなぐワザの総合的研究 科学研究費補助金 基盤研究（A）	平成 23-26 年度
	鎌田東二	こころの未来研究センター 教授		
	小倉紀蔵	多文化複合論 教授		
	篠原真明	創造行為論 教授		
5	月浦 崇	認知科学 准教授	【代表】阿部修士【連携研究員】月浦 崇 ほか 不正直な行動の神経生物学的基盤の研究 こころの未来研究センター【教員提案型連携研究プロジェクト】（『こころ観』領域）	平成 24-26 年度
	阿部修士	こころの未来研究センター 助教		
6	齋木 潤	認知科学 教授	齋木 潤・上田祥行 認知制御機構の間変異の規定因に関する研究 科学研究費補助金基盤研究（A）「平均特性と個人間変異の統合による重層的認知制御機構の神経基盤の解明」（研究代表者：齋木潤）	平成 24-26 年度
	上田祥行	こころの未来研究センター 特定助教		
7	齋木 潤	認知科学 教授	齋木 潤・上田祥行 マインドフルネス瞑想の神経基盤 科学研究費補助金基盤研究（A）（上記、No.4）	平成 24-26 年度
	上田祥行	こころの未来研究センター 特定助教		
8	辻 正博	東アジア文化論 教授	【代表】福原啓郎（京都外国語大学教授） 【分担】辻 正博・小島泰雄・小方 登 ほか 前近代中国における交通路と開港の環境史的研究 科学研究費補助金 基盤研究（B）	平成 25-26 年度
	小島泰雄	地域空間論 教授		
	小方 登	地域空間論 教授（流動） 地球環境学堂 教授		
9	齋木 潤	認知科学 教授	【代表】齋木 潤【分担】上田祥行【連携研究者】阪上雅昭 探索行動の非線形力学モデル 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究	平成 26-27 年度
	阪上雅昭	地球環境動態論 教授		

共同研究【成果物】

No.	共同研究者	分野・職位等（発表時）	成果物	発表年
1	齋木 潤	認知科学 教授	上田祥行・齋木潤 2010「三次元物体学習過程に依存した眼球運動の変化」Technical Report on Attention & Cognition, 9 <研究会予稿集>	2010
	上田祥行	こころの未来研究センター 特定助教		
2	齋木 潤	認知科学 教授	陳蕾・上田祥行・齋木潤・Emily Cramer・Michelle Dusko・Ronald A. Rensink 2011「視覚探索課題時の注意の制御スタイルにおける文化の影響」Technical Report on Attention & Cognition, 5. <研究会予稿集>	2011
	陳 蕾	認知科学 D2		
3	上田祥行	こころの未来研究センター 特定助教	Shuntaro Yamada, Satoshi Ohkubo, Hideaki Miyashita and Hiroaki Setoguchi、2012, Genetic diversity of symbiotic cyanobacteria in <i>Cycas revoluta</i> (Cycadaceae). FEMS Microbiology and Ecology, 81 (3), 696-706. Elsevier	2012
	瀬戸口浩彰	生物環境動態論 教授		
	宮下英明	生命環境相関論 教授		
4	山田俊太郎	生物環境動態論 M2	Ueda, Y. and Saiki, J., 2012, Characteristics of eye movements in 3-D object learning: Comparison between within-modal and cross-modal object recognition. Perception, 41, 1289-1298.	2012
	齋木 潤	認知科学 教授		
5	上田祥行	こころの未来研究センター 特定助教	樋口洋子・上田祥行・小川洋和・齋木 潤 2012「時空間的文脈手がかり効果のメカニズム」Technical Report on Attention & Cognition, 10, <研究会予稿集>	2012
	齋木 潤	認知科学 教授		
6	樋口洋子	認知科学 D1	篠原真明 2012「まぶさび、知行遊と身口意」『身心変容技法の比較宗教学—心と体とモノをつなぐワザの総合的研究』, 第1号、64-69頁、科研基盤研究（A）	2012
	上田祥行	こころの未来研究センター 特定助教		
7	篠原真明	創造行為論 教授	齋木 潤 2012「瞑想と「協調による制御」：試論」『身心変容技法の比較宗教学—心と体とモノをつなぐワザの総合的研究』, 第1号、59-63頁、科研基盤研究（A）	2012
	齋木 潤	認知科学 教授		
8	壇辻正剛	言語比較論 教授（協力） 学術情報メディアセンター 教授	壇辻正剛・坪田康・津志本陽・赤松紀彦・道坂昭廣・江田憲治 2012「中国語 CALL 教材の開発」『中国語の世界—上海—2012—』大地社	2012 2013
	坪田 康	学術情報メディアセンター 助教		
	津志本 陽	学術情報メディアセンター 教務補佐員		
	赤松紀彦	地域文明論 教授		
	道坂昭廣	東アジア文化論 教授		
江田憲治	文明構造論 教授			
10	篠原真明	創造行為論 教授	篠原真明 2013「まぶさび系色彩論」『身心変容技法の比較宗教学—心と体とモノをつなぐワザの総合的研究』, 第2号、79-82頁、科研基盤研究（A）	2013
	齋木 潤	認知科学 教授		
11	樋口洋子	認知科学 D2	樋口洋子・上田祥行・小川洋和・齋木 潤 2013「系列の潜在学習における課題依存性」Technical Report on Attention & Cognition, 8. <研究会予稿集>	2013
	上田祥行	こころの未来研究センター 特定助教		
12	阪上雅昭	地球環境動態論 教授	K. Terayama, R. Sumiya and M. Sakagami, 2014, Estimation of Rotation Curves for Schools of fish with Optical Flow. 情報処理学会研究報告, Vol.2014-CVIM-190, No.17, pp.1-8	2014
	寺山 慧	数理情報論 D2		
13	阪上雅昭	地球環境動態論 教授	K.Terayama, D.Tadokoro, K.Shimatani and M.Sakagami, 2014, Analysis of a Long-time Evolution and Fluctuations in the Average Torus Shape of Fish School. Proceedings of the 6th International Symposium on Aero-aqua Bio-Mechanisms, pp.66-72	2014
	寺山 慧	数理情報論 D2		

No.	共同研究者	分野・職位等 (発表時)	成果物	発表年	
14	阪上雅昭 寺山 慧	地球環境動態論 数理情報論	教授 D2	阪上雅昭・寺山 慧 2014「魚群の速度構造と平均トラスの存在」Velocity Structure of Fish Schools and Existence of Averaged Tori, Proceedings of the 20th Symposium on Simulation of Traffic Flow, pp. 27-30	2014
15	日置尋久 阪上雅昭 寺山 慧	数理情報論 地球環境動態論 数理情報論	准教授 教授 D2	K. Terayama, H. Hiroki and M. Sakagami, 2014, A Speed Distribution Measurement Method of Collective Motion with Optical Flow and its Application to Estimation of Rotation Curve. Proceedings of IEEE International Symposium on Multimedia 2014, pp. 32-39. IEEE	2014
16	壇辻正剛 坪田 康 津志本陽 江田憲治	言語比較論 学術情報メディアセンター 教授 学術情報メディアセンター 助教 学術情報メディアセンター 教務補佐員 文明構造論	教授 (協力)	壇辻正剛・坪田 康・津志本陽・江田憲治 2015「中国語デジタル教材の開発」『日本の風土和文化』創文堂印刷	2015
17	壇辻正剛 坪田 康 津志本陽 河崎 靖	言語比較論 学術情報メディアセンター 教授 学術情報メディアセンター 助教 学術情報メディアセンター 教務補佐員 言語比較論	教授 (協力)	壇辻正剛・坪田 康・津志本陽・河崎 靖 2015「ドイツ語デジタル教材の開発」『JAPAN: Land und Kultur』創文堂印刷	2015
18	篠原資明	創造行為論	教授	篠原資明 2014「旅と身心変容―芭蕉とともに」『身心変容技法の比較宗教学―心と体とモノをつなぐワザの総合的研究』, 第3号、52-57頁、科研基盤研究 (A)	2014
19	齋木 潤	認知科学	教授	齋木 潤 2014「瞑想は脳のネットワーク特性をどう変えるのか―脳波測定に向けての序論」『身心変容技法の比較宗教学―心と体とモノをつなぐワザの総合的研究』, 第3号、83-88頁、科研基盤研究 (A)	2014
20	篠原資明	創造行為論	教授	篠原資明 2015「まぶさび、その美学と宗教学」『身心変容技法の比較宗教学―心と体とモノをつなぐワザの総合的研究』, 第4号、66-71頁、科研基盤研究 (A)	2015

【資料 4-11】学際教育研究部の活動

学際教育研究部

【目的】 研究科及び総合人間学部における学際的な教育研究活動を推進すること、及びその活動を支援すること

- 【業務】 (1) 学際的な教育研究プロジェクト等の推進事業の企画、立案及び運営に関すること。
 (2) 学際的な教育研究の推進に係る支援策の企画、立案及び運営に関すること。
 (3) 学際的な講演会等の企画、立案及び運営に関すること。
 (4) 学際的な教育研究活動の情報発信に関すること。
 (5) その他学際的な教育研究活動の推進及び支援に関すること。

【部門】 ・大学院教育研究推進部門
 ・学部教育研究推進部門
 ・講演会・地域連携等推進部門
 ・広報活動・プロジェクト等推進部門
 (「京都大学大学院人間・環境学研究科学際教育研究部の組織に関する内規」から抜粋)

活動

	H28	H29
■大学院教育研究推進部門		
大学院生の模擬授業	4	1
「教養教育実習」	8	11
■学部教育研究推進部門		
「研究を他者に語る」	115	
「総人のミカタ」の支援		
■講演会・地域連携等推進部門		
総人・人環学際セミナー	1	
シンポジウム等の共催	5	
[上記の内、国際シンポジウム]	[5]	
長浜市との連携協定にもとづく調査・活動 ・庭園調査報告書「ながはまのお庭」	1	
■広報活動・プロジェクト等推進部門		
報告書発行	1	

- [H28] ・総人・人環学際セミナー 第1回:「ガラス:芸術と科学」(2016年11月16日) [国際]
 ・講演会「Influence of Age and Culture on Memory」(2016年7月30日) [国際]
 ・日英共同カンファレンス―近代ヨーロッパにおける理性・差異・寛容―(2016年8月2～4日) [国際]
 ・講演会「人文地理学の最前線」(2016年11月12日)
 ・日米合同国際ガラス科学技術シンポジウム(2016年11月13～15日) [国際]
 ・若者文化シンポジウム ドイツでコミケ? ドイツにおける日本のサブカルチャー(2017年3月21日) [国際]
 ・庭園調査報告書「ながはまのお庭」Vol.4
 ・報告書 ワークショップ「学際系学部の教養教育」(2015年12月19日開催)